

令和元年度第1回 瀬戸内市地域公共交通会議 会議録要旨

開催日時：令和元年8月26日（月）14時00分～15時45分

開催場所：瀬戸内市役所 2階 大会議室

出席委員：大東会長（岡山商科大学経営学部）

田野副会長（瀬戸内市副市長）

原 委員（両備ホールディングス㈱）

佐藤委員（東備バス㈱）

赤木委員（（有）邑久交通）

尾崎委員【代理：尾崎氏】（ツルヤタクシー）

坂本委員【代理：末藤氏】（有ネイチャーワールド自動車）

元浜委員【代理：石井氏】（瀬戸内市商工会）

石田委員（瀬戸内市観光協会）

吉田委員（瀬戸内市老人クラブ連合会）

角房委員（生活交通網をつくる会）

久保委員【代理：渡辺氏】（西日本旅客鉄道㈱岡山支社）

三枝委員（一般社団法人瀬戸内市緑の村公社）

石田委員（中国運輸局岡山運輸支局）

宮本委員（岡山県県民生活部県民生活交通課）

杉田委員（備前市市民生活部市民協働課）

中嶋委員（瀬戸内警察署）

中務委員（備前県民局建設部管理課）

出席委員 18名

委任状提出委員 3名

事務局：企画振興課 松尾（部長）、岡崎（課長）、青砥（課長補佐）、吉田（主事）

1 開会

※委員の委嘱（平成 31 年 4 月 1 日付けで 2 年間の任期）

※新たに就任した委員の紹介（4 名）。

※会長・副会長の選任。

会 長：大東委員（岡山商科大学経営学部教授）

副会長：田野委員（瀬戸内市副市長）

2 会長あいさつ

※公共交通は利用者の生活に必要な不可欠なものであり、これをどのようにして持続させるかを考えることが重要であり、そのためには、委員の皆様の忌憚のないご意見が必要である。

※瀬戸内市の市営バスについては、利用者数の伸び悩みが課題である。利用者数の実績値については定期的に報告を受けおり、本年度に入り若干の増加傾向にある。これについては、後ほど事務局から説明がある。

※この公共交通会議は、市営バスだけではなく市全体の公共交通の維持確保について議論することが重要である。鉄道、民間路線バス、タクシー、前島フェリーといった公共交通について、各分野のお立場から積極的なご発言をいただきたい。

3 議事

（1）既存の地域内交通について

～事務局から資料 1（p 1～2）、別紙について説明～

《主な説明事項》

➤市営バスの利用状況（平成 29 年 11 月～令和元年 7 月の期間）

➤沿線住民アンケート調査結果

会 長 西脇一邑久線については、おかやま愛カードの利用率が減少傾向であるとの報告があったが、障害者等手帳も併せて保有している方が、おかやま愛カードを提示しないという逆転現象が起きている可能性はないか。

事務局 分析できていないが、おかやま愛カード、障害者手帳の提示のどちらも運賃が半額になるため、両方を保有している方が、障害者等手帳の提示に偏った可能性はある。

会 長 おかやま愛カード保有者の全体数は増加しているのか。運転免許証の自主返納者数の推移が確認できるか。

委 員 増加傾向にはあるが、急激に増えているわけではない。返納したくても公共交通機関が利用できない所に住んでいる方は返納を躊躇してしまう。瀬戸内警察署では今年 150 人くらいの方が免許証を返納された。ほぼ毎日 1 人から 3 人の返納がある。夏場になりやや減っているが、返納者は増加傾向である。ただし、免許返納者の内、どの程度の方がおかやま愛カードを活用しているかは不明である。

会 長 免許返納者に市営バスを知っていただくという取り組みも重要である。

～事務局から資料 1（p 3～4）について説明～

《主な説明事項》

➤西脇－邑久駅線の経路変更

➤車両の改善

委 員 車両のラッピングについて、邑久高校の美術部にデザインを依頼しているとの説明があったが、どのような条件設定で依頼しているのか、概要の説明をお願いします。

事務局 車両の形状から、ラッピング可能な部分を示し、そこに納まるデザインであることを必須条件としている。併せて、瀬戸内市らしいデザインで、利用者だけではなく、市民の皆さんが親しみを持っていただけるようなデザインであることを条件提示している。

委 員 例えば、備前市営バスはそのカラーリングから一目で分かる。岡山市内を運行している路線バスもよく目立つデザインになっている。一方で、現在の瀬戸内市営バスは地味で目立たない。ここが改善されなければ意味がないので、邑久高校へは意図をしっかりと伝えておく必要がある。

委 員 車両のラッピングは、私がこの会議で毎回提案してきた。委員のご発言のとおり、カラーリングなどの方法により、遠くからでも市営バス車両であると認識できるようになることが目的である。絵やイラストによるデザインよりも、目立つ車両にすることが重要である。デザイ

ンを最終決定する前にこの会議に諮ることは可能か。できれば、複数のパターンを提示していただき、その中から選定できることが望ましい。以前、牛窓地域で実証運行したモーモーバスするときにも、デザインが決まった後に報告があったのみだが、そのようなことでは、この公共交通会議の存在意義を問われる事態にもなりかねない。今回は決定前にこの会議で検討できるようにしていただきたい。個人的には、邑久高校に依頼とは別の方法で、例えばデザイン会社へ依頼する方法もあったと考えている。とにかく、最終デザインについては、この会議で検討したいということをお願いする。

事務局 既に邑久高校の美術部に依頼しており、9月末ごろにデザインが提出される予定である。

委員 邑久高校へ依頼することについて、この会議に諮ったか。

事務局 公共交通会議へはお諮りしていない。申し訳ない。

委員 これまでの会議で私が何回もラッピングの提案をしたが、具体的な手順に関する協議にまでは至っていないと思っていた。ここにきて唐突にデザインが決まります、という報告では協議の順番がおかしいと思う。

事務局 確かにこの会議で協議していただく手順を踏まず、事務局の判断で邑久高校へ依頼をしてしまった。また、デザインはひとつの案のみ提出される予定である。

委員 そうなると、先ほど委員のご発言にあったとおり、この会議の意見が全く反映されないということになってしまう。

事務局 高校が文化祭や体育祭で忙しい時期の依頼となってしまう、複数パターンの提案は困難との回答をいただいたことから、ひとつのパターンで結構なのでお願いすることを我々が判断した。

委員 1案ではなく3案くらいの中から選定したい。

委員 高校に頼んだことも我々は知らない。デザイン会社に頼むという話でもあれば、まだその時に協議できたと思う。予算をかけないようにしようと思ったのかもしれないが、最終的に「このデザインに決まりましたのでご了承ください」という話にしかならないのではないかと。

事務局 高校がデザインしてくださったものを一度この会議で見させていただくことは可能である。今の計画では1月の新路線の運行開始に合わせて

ラッピングする予定だが、状況によっては、車両ラッピングを新路線運行開始の後の2月や3月に遅らせることで、委員の皆さんにご確認いただく時間を確保できると思われる。

委員 市民の声は「普通の車と変わらないから市営バスが通ってもわからない」というもの。やはり目立つようにする必要がある。

委員 カラーを変える必要がある。現状の上にシールを貼っただけではダメだと思う。

委員 高校への依頼内容を整理したい。依頼したのは、バス車両全体面のデザインか、それとも側面のデザインか確認したい。車両の前面を目立つものにするのが大切だと思っている。

事務局 高校へは側面のデザインを依頼している。それに合わせて前面をカラーリングすることを想定している。

委員 高校がデザインした車両側面に合わせてイメージカラーを決定し、車両全体の塗装に反映させるということになるか。

事務局 そのように想定している。

委員 イメージカラーは何年もかけて定着していくもの。委員のご発言にもあったが、一目で市営バスが来た、と認識してもらえることが大切である。

委員 「全然わからない」という意見があるのだから、認識しやすいもの。デザインよりカラーリング。要するに市営バスだと分かればよい。

委員 認知度はあるが、「市営バスが通ってもわからない」という意見をよく聞くので、派手にしてほしい。備前市営バスはすぐにわかる。邑久高校への依頼はよいが、どのような条件で依頼したかということ。とにかく派手にしてほしいという意図を伝える必要がある。

委員 ハイエースのベースは薄い色、オフホワイトとかシルバーしかない。その色を変えられるなら塗装からしてもらったほうがよいような気もする。

会長 デザインの決定は、この会議で確認してからとする。審議事項と報告事項が混在した説明になっていた。デザイン案は増やすことができるのか。

事務局 当初はラッピングしたもので新路線を運行する想定であったため期限を切って依頼したところ「1案しかできない」という回答だった。

期限を延ばせば、複数案を作成していただける可能性はあるかもしれない。高校に相談してみないと何とも言えない。

会 長 次回の会議で案を示していただき、もし合意できなかった場合に、また延期になるようなことにならないようにしていただきたい。

副会長 高校へ依頼しているのは側面のデザインである。車両を前から見た時にわかるようにベースの色をこちらで考えるという方法もある。

会 長 まとめますと、ベースの色をまず決めるということ。側面については高校が作成してくださるデザインを確認して協議するということ。

事務局 高校から側面のデザインが提出された段階で、前面のカラーリングを複数案作成してみる。書面審議の可能性もあるが、交通会議へお示ししてご審議いただくことにする。

会 長 それではラッピングについての協議は以上でよろしいか。
ー異議なしー

会 長 西脇一邑久線の経路変更は合意の確認事項になっている。異議がある方はいるか。

確認だが、経路変更により利用者が困るようなことはないか。

事務局 利用者が困るような事態にはならないと考えている。唯一の懸念は既存の路線にある停留所「上山」の廃止である。前年度までは2か月に1回くらい利用があったが、本年度は利用がほとんどないため、影響は少ないと思う。

会 長 西脇一邑久線の経路変更については、異議なしということで合意を確認した。

～事務局から資料1（p5）について説明～

《主な説明事項》

➤既存3路線の登録更新

➤備前市営バス（東鶴山線）の登録更新

会 長 既存3路線の登録更新、備前市営バス（東鶴山線）の登録更新の合意の確認事項になっている。意見はいかがか。

「既存3路線の登録更新」と「備前市営バス（東鶴山線）の登録更新」については、異議なしということで合意を確認した。

～事務局から資料1（p 6～7）について説明～

《主な説明事項》

➤タクシー活用制度の利用状況（平成29年11月～令和元年7月）

- 会 長 ご意見ご質問があればご発言ください。
- 委 員 利用券について、4月1日から使えるわけではないのか。
- 事務局 新年度分は4月1日から申請受付となっている。申請を受理した後、審査してタクシー券をお渡しできるまでに1週間程度かかる。利用者の方にはご迷惑をかけるが4月上旬の1週間程度に空白期間が生まれることになる。
- 委 員 4月に、この件についてタクシーの利用者から確認があった。先ほどの説明を利用者に伝えることはできないか。
- 事務局 手続きの関係上一週間程度の処理期間が必要であることについて、市から利用者へ説明する。
- 委 員 使用範囲について確認したい。移動先の実績を見ると、岡山市、備前市、倉敷市、和気町などもあるが、使用範囲の制限等あるのか。
- 事務局 現行の制度ではタクシーの乗車または降車のいずれかが瀬戸内市であれば使える。
- 委 員 極端に遠方への利用でも使用できるのか。
- 事務局 現行の制度では使用できる。今後、制度を市内全域に拡大する場合、一度にあまりにも多くの枚数を使用されることについては、ある程度の制限が必要になるかもしれないと考えている。

（2）市営バス新規3路線導入計画について

～事務局から資料2（P 1～7）

《主な説明事項》

- 新路線の経路・停留所・キロ程・所要時間
- 自家用有償旅客運送の変更登録の申請書
- 導入スケジュール

- 会 長 新路線の導入地域は、市営バスを利用したいという需要が比較的高い地域ということか。

事務局 新路線は、基本的には公共交通不便地域をカバーするための路線となっており、需要の高い地域と認識している。

会 長 市営バス新規3路線について合意の確認を行う。なお、今後沿線自治会や警察との協議により停留所の位置が若干変更になる可能性がある。これに伴いこれから合意を確認する路線についても微調整が発生する可能性があることをご了承いただきたい。これを踏まえてご異議のある方はあるか。

異議なしということで合意したことを確認した。

～事務局から資料2（P8～9）

《主な説明事項》

- ▶市営バス新路線導入による公共交通不便地域の解消見込み
- ▶タクシー活用制度の対象人数見込み

会 長 ご意見ご質問があればご発言ください。

委 員 地域の人が望む公共交通網の整備を進めていくことが基本的な考え方だと思う。

全市に拡大するタクシー活用制度は、バス停から400m圏外に該当する方、例えば、先ほど協議した市営バス西脇-邑久駅線の路線変更により廃止となる上山バス停周辺の方は制度の対象になるという解釈でよいか。

公共交通不便地域の解消の見込みをこの会議で毎回提示されている。行政としては、新たな地域内交通を導入することで不便地域が解消されていくことが励みとなることは理解できる。ただし、「市営バスの新路線を導入した地域」ということであり、「公共交通不便地域を解消した」という言い方では、バス停が遠い人たちからすれば、交通不便地域が人口比で7パーセントまで解消できると言われても、あまり実感がない。市営バスのアンケート調査結果にもあったが、市営バスの路線が導入されても、便数や土日の運行、バス停が遠い、目的地に行くバスがないなど、生活する上でクリアする必要があることが多数ある。このような状況で「不便地域を解消できました」といわれると、「まだまだ便利ではない」と思う市民もいるのではないか。

公共交通網の整備は、利用する人にとって、どれだけ便利にしていく

かを、今後も引き続き検討する必要がある、そこを目指してやっ
てい
かないといけないなというのが感想である。

事務局

市営バスの停留所もタクシー活用制度において距離要件の基準とな
る停留所である。

先ほど西脇-邑久駅線の路線変更のところで、廃止する停留所として説
明した上山については、近隣にお住まいの方は、自宅から停留所が 400
m以上の距離になるため、タクシー活用制度の距離要件に該当するこ
とになる。

市営バスなどの地域内交通を導入した地域は、公共交通不便地域を解
消できたと説明しているが、委員のご意見のとおりで、より多くの市
民にとって実際に使える移動手段であることが重要とのご指摘はご
もつともであると考えている。市営バスの導入により公共交通不便地
域は解消されるが、実際の生活で更に便利に使っていただけるように
改善することが次のステップだと考えている。停留所の位置や便数、
土日の運行、通勤や通学での利用など、多種多様な市民ニーズがある。
地域内交通は導入して終わりではなく、今後も改善の検討を続ける。

会 長

公共交通網形成計画では公共交通の課題として3つの大きな課題を挙
げている。公共交通網に関する課題、利用促進に関する課題、そして
協働・連携に関する課題である。市営バスの導入は公共交通網に関す
る課題に対応する部分であり、その上で利用促進に関する課題を解決
する必要がある。この会議では網形成計画で示す趣旨に従って協議を
進める。

委 員

現行と新規導入する市営バス6路線とタクシー活用制度はまだモデ
ルの段階か、それとも本格導入か。

公共交通の在り方も非常に多様化している。スマホや AI などを取り
入れているところもある。時代は常に変化しており、我々のやっ
てい
ることは時代遅れかもしれない。市として、取り組みの推進と並行し
て情報収集もしっかりやってほしい。現状が必ずしも最善ではないと
思うので、経費も含めて常に検討を続ける必要がある。以前は先進事
例で本市も参考にさせてもらった自治体の公共交通施策でも、数年後
の現在は行き詰っているところもある。公共交通は、常に検討しなが
ら最善のシステムで実施する必要がある。

会 長 P D C A サイクルを機能させることが重要である。事務局の回答はどうか。

事務局 先ほどの委員からのご意見ともリンクするが、地域内交通を導入して終わりではなく、常に変化する社会情勢に対応することが重要である。

委員 公共交通は市営バスだけではなく、民間の路線バス、J R、タクシー、前島フェリーなどがあり、公共交通がなくなってしまうのは市民が困ることになる。市内の公共交通全体について、常に改善を図りながら、より充実させていく必要があると認識している。

事務局 他の自治体から、問い合わせや参考にしたいという話はあるか。

事務局 数回あり、意見交換という形で担当者と情報交換を行った。

(3) 地域公共交通網形成計画推進事業について

～事務局から資料3について説明～

《主な説明事項》

➤令和元年度の主な事業スケジュール・事業内容

会 長 ご意見やご質問があれば発言してください。

委 員 前島エリアで導入する地域内交通について、グリーンスローモビリティを候補の一つとして検討するため、北木島で近々行われる実証運行を視察に行くという説明があった。ご承知のとおり、前島は昼間でも野生動物が走り回っており、ゴルフカートのような乗り物が時速 20 キロの低速で走行すると、安全面で問題があるかもしれない。他の方法がよいと思う。

事務局 確かに安全面は研究する必要はあるが、選択肢の1つとして研究してみる価値はあると考えている。

委 員 やはり危険なのでやめた方がよいと思う。時速 20 キロではいのししや鹿から逃げきれない。島の有害鳥獣が全て駆除できればよいと思うが。

会 長 グリーンスローモビリティは島内の人が最寄りのところへの移動で利用することをイメージしているのか。

事務局 そうである。島の方が、自宅から島側のフェリー乗り場への移動手段

として利用することを想定している。

会 長

その他のご意見はどうか。

本日の議事は以上となる。

4 その他

- 国土交通省岡山運輸支局よりリーフレット「活発で良い議論ができる会議のために。」の配付と説明。

5 閉会

副会長

本日は、皆さんお忙しい中をご出席いただき、長時間にわたりましてご審議いただき誠にありがとうございます。地域交通の充実が市民生活の質を高める上で大変重要なことだと思います。市営バスが3路線増えることで公共交通不便地域の人口割合が7パーセントまで改善されるということで大変喜んでおりますが、今後さらに充実して行く必要があるとも思っています。今後も皆さんのお知恵をお借りしながら検討を続けていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。

本日はありがとうございました。